

讚美ヶ丘 コミュニケーションズ



平成23年1月号

株式会社讚美ヶ丘

山梨県南都留郡山中湖村平野3707 〒401-0502

Tel.0555-62-3000 Fax.0555-62-0165 Mail: info@sambigaoka.co.jp

「あいさつ」

あけまして、おめでとう
ございます。本年もよろし
くお願いいたします。

昨年、さまざまなかたち
で私どもを支えてくださいま
した、別荘オーナー様、地主
様、業者様に改めて深く御礼
申し上げます。

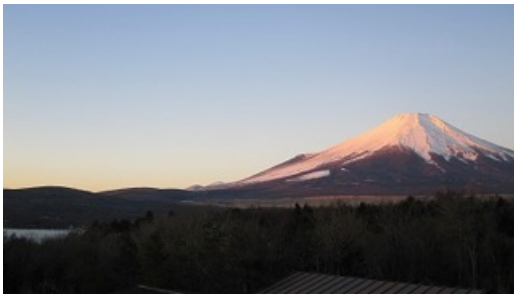
弊社発足以来、諸種の改
革を行い、日々精一杯頑張っ
てはおりますが、思い通りに
いかないことや、手が回らな
かった、と思うところも少
なくありません。オーナー
様からお叱りを受け落ち込
んでしまうこともございま
した。しかしオーナー様から
のご指摘は、見落としてし
まっていた点や、至らない
点を気付かせていただく貴
重な機会として、前向きに
とらえてまいりたいと考え
ております。

一方、嬉しいことにお褒
めの言葉を頂戴することも
増えてまいりました。お褒
めの言葉は大変ありがた
く、頑張ってきたことが無

駄ではなかった、もつと讚
美を良くするために頑張ろ
うという活力になっており
ます。今後とも、良い点も至
らぬ点も、お気軽にご意見
を戴けましたらありがたく
存じます。

讚美は造成から40余年を
経ました。この落ち着き
は、一朝一夕には得られな
い魅力の一つですが、一方
ではインフラを考え直すべ
き時期に差し掛かっている
ことも意味します。

水道設備も、幸いなこと
に讚美では大きな問題なく
おいしい水をご提供できて
はおりますが、当時敷設し



元旦、管理事務所からの富士山の眺め

た水道設備の更新のめどとさ
れる30-40年を超過してきてお
ります。

アンケートでご希望の多かつ
た道路の補修、環境負荷とメン
テナンス負担を減らしていくた
めの下水の整備なども重要な課
題と認識しております。

下水は山中湖村には下水道
があるにもかかわらず、讚美
に限らず別荘地は浸透式のま
まになっているのが現状で
す。

植栽も、かつての幼木はいま
や大木に成長し、かつては樹上
から富士山や山中湖を見晴ら
せたのが、大木となった木々
が壁となってしまうケースが
多くみられるようになりまし
た。間伐に関しては別記事に
まとめましたが、単に間伐す
るだけでなく、緑を多く保
ち、眺望を維持し、かつ紅葉
の美しさなど景観も堪能で
き、さらにはCO₂の吸収量
も多い広葉樹に植林し直して
いくことが長期的に必要なこ
とだと考えております。

こうした讚美の魅力を高め
る取り組みとして、実現でき
たこともご報告申し上げます。

会社発足当初より、光ファイバー敷設を重要な経営課題と考え、種々の案を検討して業者と交渉してまいりました。結果的にオーナー様のご負担が最低限で済むNTTの光ケーブルが各戸に導入できるようになりました。ご希望の方は管理事務所にお問い合わせください。

残念ながら、今現在、山梨県では光ケーブルを開通しても、地デジをご覧いただくことはできませんが、「光テレビ」や「U-nex-t」の映画や番組をご覧いただくことや、対応するテレビやパソコンをお持ちでしたらインターネット経由でVODで映画*などをお楽しみいただくことができます。

水道については、讚美には水源が3箇所、ポンプが4箇所あり、常時、山の地下から汲み上げた水をご提供しておりますが、今後もおいしくて安全な水をご提供できるよう、昨年は水源の大規模な清掃と数カ所のポンプの交換を行いました。

マリモ通りからの進入路

では、昨年出口にカーブミラーを新設していただきました。今年には進入道路整備工事が始まりました（別紙「道路改良工事に伴う、迂回等のお願い」もご参照ください）。進入路は讚美の顔でもありますので、地主様や山中湖村と継続的にお話をさせていただき、長期的な課題として「讚美」に見合う入り口にしてまいりたいと考えております。

インフラ整備はどれも多大な費用がかかりますのですぐにはまいりませんが、「美しい讚美」、「誇れる讚美」となるよう腰を据えて改善し、讚美に住まわれる価値、おいでになる価値、所有される価値を高めてまいりたいと存じます。

本年も引き続き、讚美ヶ丘にご愛顧をお願いいたします。

株式会社讚美ヶ丘
代表取締役 上小澤常範

*別途、各事業者とのご契約が必要です。

一般管理業務年間スケジュール

快適な別荘暮らしをお約束する讚美ヶ丘スタッフの仕事とサービスをご紹介します。詳しくは、管理事務所までお問い合わせください。

一般サービス

緊急業務は24時間対応いたします。

メンテナンス
工事

道路や路肩の除草、U字溝、雨水マスの清掃、修理、街路灯、消火栓の修理などを行っております。

施設の
管理

農園やパブリック（共益）スペース、管理施設の保守・維持・修理を行っております。

幹線道路
除雪

別荘地幹線道路の冬期間の除雪や保守・メンテナンスを行っております。

鍵の保管
と管理

ご不在時の別荘の鍵をお預かりします。

セキュリティ

別荘地の巡回パトロールを実施しています。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
インフラ管理	道路・街路灯・交通標識・案内看板・ガード等の点検・保守・補修											
	雪害・凍結への備え・緊急出動						台風への備え・点検・緊急出動					
	共益設備(排水設備・消火栓・公園等)の維持管理、補修点検											
	ゴミ庫内の点検清掃・ごみ処理											
	道路除雪・側溝清掃			共益部分の清掃&草刈・美観向上、側溝清掃						道路落ち葉清掃 側溝清掃		道路除雪
	夏の防火草刈 道路際						秋の防火草刈 全域					
一般管理	ゲート出入口の管理 毎日											
	毎月・毎日の各別荘の目視点検											
	毎日の防犯防災パトロール											
	ホームページ等を通じた情報提供											
コミュニティ維持	コミュニケーションズ発行			コミュニケーションズ発行			コミュニケーションズ発行			コミュニケーションズ発行		
	讚美祭			収穫祭			冬の収穫祭					
	クラブ活動のサポート											

不在時
サービス

滞在
サービス

帰荘
サービス

有料サービス

お客様のニーズに応じた
サービスを提供します。

高窓・梁・換気扇など高所の清掃。階段・雨どい・煙突の清掃。草刈・剪定・清掃。蜂の巣駆除・害虫の駆除。立木伐採・芯止め・間伐・樹木剪定。アプローチ・階段・駐車場などの修繕工事。大切な山荘の現状を写真を添えてお知らせします。

床清掃や水回り部分の清掃。リネン・布団貸出・クリーニング。設備や機器の故障にできる限り対応させていただき、専門業者への手配をいたします。灯油やガスなどのお取り次ぎや配達。ゴミや粗大ごみの回収。

ハウスクリーニングで、カーペット・畳・キッチン等のクリーニング。室内の清掃や浴室の清掃と併せ、空気の入れ替え・通風。庭の清掃・お手入れ、敷地の除草・草刈・落ち葉清掃。駐車場やアプローチの除雪。冬期間に、凍結防止のための水抜き・通水、薪の配達。



讚美ヶ丘の住人たち

このコーナーでは、讚美ヶ丘敷地内に集う生き物

〈動植物、含むオーナー様〉をご紹介します

長くご利用いただいている、
富澤幸男様、朝倉摂様ご夫妻
にお話を伺いました

■草月工房に原稿を書きに

そう、遠い記憶なので、40年くらい前、もしかするともう少し過ぎていたのかも。讚美ヶ丘のほぼ真ん中当たりの便利なところに、草月流の工房があったんです。新築の立派な建物でした。私たちの共通の友人勅使河原宏さん（草月工房のオーナー）たちと、シナリオの討議など、便利に利用させていたいただきました。ときには私一人、ゆっ



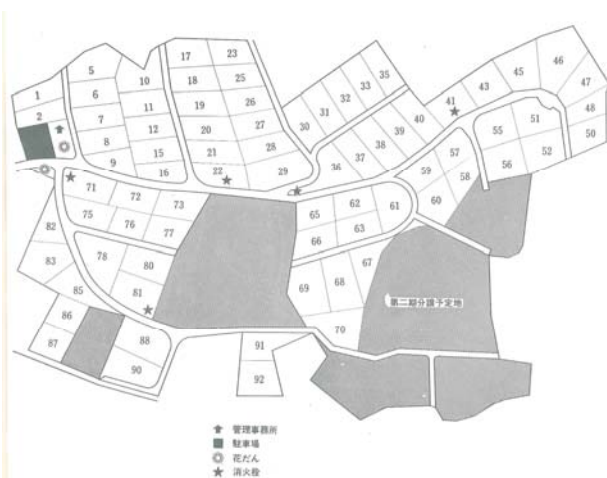
くり原稿を書くには申し分のない環境です。



■亀倉先生に背中を押されました

その南側に面して、グラフィックデザインナーの亀倉雄策氏の瀟洒な山荘がありました。吉村順三氏の建築と聞いております。

この亀倉先生の指導力はかなりのもので、それぞれの別荘の区分を示す塀を作らない。さらに、高い建物を制限するなど自然のなかに美しく住もう。これが讚美の精神として今も残されていると思います。やがて、私もそのかされて仲間入りすることになりました。



40年前の讚美ヶ丘のパンフレットより、「第一期分譲地」。

このころは外国に出ていることが多くてあまり自然に触れていなかった記憶があります。
ある日、パーティーでお会いしたとき、讚美の村長つまり亀倉先生から、自分の家がないのは不便だろうなど背中を押されながら不思議な家造りが始まりました。

■設計図に示された家は、

なんと三角形でした

一男氏、つまりは今住んでいる家を



40年前の讚美ヶ丘から望む富士眺望。

設計した人に決まりました。大きなアトリエを中心に造られている今住むわが家。その対極にあるプランが示されました。驚くことにそれは、三角形の家でした。
 時は、東京オリンピック、大阪万博などが通り過ぎ街中が揺れている時代でした。
 新しい文化状況が生まれその波の中でストレスに悩まされます。私の専門の映画も、他のジャンルとの新しい緊張関係が必要となります。
 建築も、デザイン、音楽、映画、演劇、写真、すべてのメディアに近代化が求められそれに応えるように大きな変化が次々と訪れました。

そんな中で三角の家は完成。宿泊客はみんな一様に絶賛。

■ たくさんさんの思い出があります

今、東京から讚美に通うには約一時間半、昔は二時間半かかったと思います。何はともあれドライブでの散歩は丹念によくしました。富士五湖はもちろん、小田原、箱根、沼津、そして甲府と。

もっとも充実しているエリアはやっぱ箱根でしょう。長い歴史を感じます。

10年も前でした。雑誌の囲み記事で見つけた小田原漁港の小さなフレンチ。さつそく訪れてみました。漁港の見える窓辺にある、ほんとに可愛いフレンチ。その味は素晴らしかった。新鮮な魚と美しい夕景、忘れられないレストランでした。毎年、夏になると必ず訪れ、夏の楽しみのひとつになりました。

その楽しみにしたフレンチも東京に進出、青山で今は大きなレストランとして営業中。

もうひとつの思い出。

讚美ヶ丘もにぎやかになります。数々のイベントを手掛けました。音楽関係のスタッフの企画でジャズフェスティバル。静かな夏の夜に独り芝

居。これらはすべてこの近くに住む村民の皆さんを招待する目的で、大きな交流会だったようです。

当時、私たちは50代くらい、仕事も落ち着いてきたころでした。

※次回「新しい讚美に期待すること」に続きます。



今回お話を伺った富澤幸男様、朝倉撰様はそれぞれ映画監督、舞台美術家として現在も活躍されています。

畑を渡る風の匂い、雨上がりの日の湿った土の匂い。農園では、都市生活では感じられない素のままの自然を、身近に感じていただけます。

「みんなの農園」

共同で種まきや収穫をし、個人でもご自由に作物を収穫していただけます。

「個人農園」

一区画(約5坪)の中でお好きな作物やお花を個人で所為できます。水やりや、栽培のサポートもいたします。お貸しできる農具もございますので、スタッフにお問い合わせください。



収穫前においでにならなかったお客様には、収穫物をお送りいたします。



守り人の知恵

☆ 科学的証明はありませんが、農業されている方の知恵です。ある種の植物同士をうまく組み合わせると、薬品を使わずに病虫害や雑草の被害をなくしたり減らすことができます。

一緒に植えておくと病虫害が発生しにくい植物

セロリー	+	トマト、白菜、キャベツ	= 匂いでモンシロチョウが来ない
マリーゴールド	+	ナス、白菜、菜っ葉	= 線虫害に有効。匂いが虫よけ
二十日大根	+	ウリ類(根もとに植える)	= 大根の匂いでウリハムシ予防
アスパラガ	+	各種野菜	= 防虫、線虫予防効果

相性の悪い作物

ネギはマメ類の生育を阻害する。
 ホウレン草あとのキュウリは不調、トマトは暴れる。
 ジャガイモあとのエンドウはダメ。
 ショウガとジャガイモはダメ。
 エンドウあとのホウレン草は病気になる。

- みんなの農園 : 年間10,000円 (税込)
- 個人農園(約5坪) : 年間20,000円 (税込)
- 個人農園フルサービス年間維持管理付 : 年間50,000円 (税込)

個人農園フルサービス年間維持管理では、個人農園の(除草・種まき・収穫・追肥)などご注文に応じてスタッフが行います。

(※種まきから収穫までの一周期。収穫物の発送は2回目以降、実費を申し受けます)。



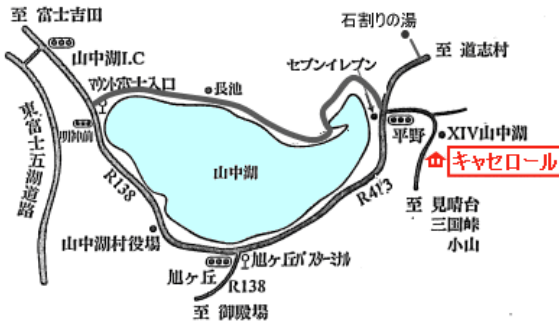
ネイティブヤマナカン

『煮込みStewの店』

Casserole

シチューのお店キャセロールは寒い時期にお勧めです。
ランチ、ディナー合わせて1日40食限定。
ビーフシチューは、コクがありながら後味はスツキリ。ホワイトクリームシチューは、まるやか

で優しい味で、お子様、お年を召した方にもお勧めです。
他にもスペシャルランチメニュー、セットメニュー、ワシちゃんメニューもあります。
かわいいうんちやんとお食事ができる配慮がうれしいです。



〒401-0502
山梨県南都留郡山中湖村平野548-104
電話番号 0555-65-6311
<http://www.casserole-stew.com/>
定休日 毎週月曜日と第4火曜日
(祝日と重なる場合は営業致します)



地元生まれ育てて45年。社長上小澤が山中湖周辺のおススメの店をご紹介します。

『鉄板焼き&ワインの旬宿ペンション夢野樹』

私が推薦者です！



道路からのアプローチがややわかりにくい隠れ家的ペンションです。しかし、ご利用になったお客様の口コミから、地元でも評判になっています。忍野村の鱒や野菜など、オーナーシェフ自ら選んだ地産食材を使っています。目の前の鉄板で料理をしてくれますので、出来上がるのを見ながらおいしい食事を楽しめます。お食事は、ご予約が必要です。



〒401-0502
山梨県南都留郡山中湖村548-47
TEL:0555-65-7255 FAX:0555-65-7266
MAIL:info@yumenoki.in
<http://www.yumenoki.in/index.html>



間伐の必要性

登山ガイドは「間伐していないところは危ないんです」とよく言います。又メツた斜面で足をすべらせてお尻は泥だらけ、という経験をされた方もいらっしやるのでは。間伐の効果は、案外身近なところで感じることが出来ます。

○緑の着物

「間伐は人の手で植えた樹木の健全な成長には不可欠です」と、林野庁整備課の工藤浩樹氏。「間伐しないと互いに栄養を奪い合い、結局は細い木ばかりになります」過密になった樹木を間引くと日光が差し込み、下層の植物が成長して表土の流出を防ぎます。森の地肌をそのまま風雨にさらさぬよう、「緑の着物」をまとわせるといっわけです。

○動物たちの食べ物

間伐するのは、主に、植林の対象となったスギやカラマツなどの針葉樹。間伐でミズナラ、クリ、クヌギといった実をつける広葉樹も生えるようになり、木の実を主食とする猪、熊や鳥類も共生できます。昨年（2010年）はドングリの実がなるミズナラが不作だったので、エサを求めて里に降りてくる熊などの被害が全国で目立ちました。

○おいしい水

枯れた下草が幾層にも重なれば、おいしい水へ濾過する「団粒構造」ができてやすくなり、保水機能が増します。虫など多様な生物が命を育み、ミネラルたっぷりの水は下流の魚の大きさにまで影響するといえます。

間伐しなくとも自然淘汰により最終的には自然林に近づきますが、人間が手を入れることによって自然に戻るそのスピードを加速できます。

良いこと尽くめに聞こえる間伐。しかしそれが進まないのは採算性の問題。

「昭和50年代まではスギなども良い値段で取引されましたが、伐採してもお金にならないから結局放置されるようになりました」（工藤氏）

○昔はダイコン畑

讚美ヶ丘を擁する長池地区。昔は主にダイコンや大豆の畑でしたが、50年ほど前から一斉に植林が始まりました。現在の植林分布はスギ、ヒノキが7割、2割がカラマツといったところ。「良い収入になると言われ、植えられるだけ植えたというのが実情」（山中湖村産業振興課、山崎茂氏）

しかし、昭和30年代後半、高度経済成長とともに始まった観光ブームで民宿、旅館、企業の保養所が立ち並び、リゾートやレンタサイクルによる高収入の陰で、

村の主産業は完全に林業から観光に取って代わりました。「百姓なんてバカらしくてやつてられないという感じ」（地主様のおひとり）。村の生活サイクルから山林は完全に取り残されていきました。

○日本のスイスに

森林先進国ドイツ、オーストリアには森にちなんだフォレスト（森林官）制度があります。私有林であってもある程度大きさになると専属の森林官を雇用しなければならず、森林官は担当する山林を緑豊かなものにすべく業務に励みます。森林の所有者は「健全な森林の保持、育成」を厳しく義務付けられるということです。林野庁でも検討会を設け、日本への導入を目指していますが、まだ緒に就いたばかり。

「讚美ヶ丘なら日本のスイスになれるのでは」との言葉は同村産業振興課羽田健志氏。

「人が植えたところは最後まで人が面倒みないといけないんです」との山梨県森林総合研究所の白井氏の言葉が、耳に残りました。（小山哲哉）



讚美の薪（まき）

讚美でご利用している薪は、讚美の森で間伐した木を再利用しています。

讚美の薪一束500円

